

日本聖公会 大阪・京都 教区協働子どもプログラム

今回は「五千人に食べ物を与える」という聖書のおはなし(ルカによる福音書9:16)



キッズフェスティバル 2021

しあわせって、どんな味?

大阪教区と、京都教区の教会につながる子どもたちへ

みんなで集まって礼拝することが出来ないで、聖書のお話や楽しいプログラムを「小冊子」にして、みんなの教会に配布することになりました。教会でもらってね。テーマをみんなで分かち合いましょ!

日本聖公会 大阪・京都 教区協働子どもプログラム
キッズフェスティバル2021

しあわせって、どんな味?!

みんなで集まって礼拝することが出来ないで、聖書のお話や楽しいプログラムを「小冊子」にして、みんなの教会に配布することになりました。今回は「五千人に食べ物を与える」という聖書のおはなし(ルカによる福音書9:10)を分かち合いながら、私たちにも豊かに注がれる主の愛を子どもたちと分かち合いたいと思っています。

冊子は1年間に4回発行

する予定です。京都教区/大阪教区内の各教会へは発送致しますが、希望者にはご自宅へ発送致します。(子ども無料)

問い合わせ・冊子申し込み
・京都聖マリア教会
075-7771-2581
司祭 藤原 健久
090-6232-6557
・Eメール
kyoukukids@gmail.com
(子ども)プロジェクト担当
齋藤 みち



夏のキャンプ中止のお知らせと今後のプログラムについて

京都教区教育部・大阪教区生涯学習委員会は、キャンプなど青少年向けのプログラムを毎年おこなってきました。しかし、昨年に続いて新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、この夏の小学生キャンプ・J'sキャンプは、開催を中止することにいたしました。このような決断をしなければならぬことは、残念なことですが、感染症の状況が落ち着いて安心して笑顔で交わりを深めることができる日が早く来ることを願っています。

一方で、感染防止対策が社会の中で強められるときに、孤立感をもって過ごしている子どもたちがあることもわたしたちの課題です。このような時だからこそ、自然に恵まれた環境の中で子どもたちが笑顔で過ごし、人々との関わりを喜びあえることが、いっそう大切になっていると考えます。そこで別の企画として、人数や期間を制限するなどの感染症への対応を工夫しながら、心と体のリフレッシュの機会をつくることを検討しているところです。

新しい企画がまとまりましたら、教会を通じてみなさまにお知らせいたします。お一人おひとりの心と体の健康が守られますようにお祈りしています。

(京都教区教育部)

大阪教区生涯学習委員会
司祭 千松 清美
司祭 鈴木 恵一

羊だより

先日来忙しいこともあり、心が渴いているように感じておりました。5月12日の朝の礼拝の第1日課は続編のバルク書で、その3章31節に「知恵の小径を思いめぐらす者もない。」とあり、私のことだと感じました。魂を養ってくれるものは、大きな径にはなく、小径にあるのです。よく目を凝らし、耳を澄ましておく必要があります。自分自身を省みる機会となりました。「知恵の小径」と思っておりましたら、偶然美しい典礼聖歌に出会いました。典礼聖歌352番(作詞 田三郎)「聖霊の統唱」です。You Tubeをご覧になれる方は、是非聴いてみてください。

聖霊来てください
あなたの光の輝きで
わたしたちを照らしてください
貧しい人の父心の光
優しい心の友さわやかな憩い
ゆるぐことのないよびごころ
苦しむ時の励まし
暑さの安らい

憂いの時の慰め
恵みあふれる光信じる者の心を満たす光よ
あなたの助けがなければ
すべてははかなく消えてゆき
だれも清く生きてはゆけない
汚れたものを清め
すさみをつるおし
受けた痛手を癒やす方
固い心を和らげ冷たさを温め
乱れた心を正す方
あなたのことを信じて
より頼む者に
尊い力を授ける方
あなたはわたしの支え
恵みの力で
救いの道を歩み続け
終わりなく喜ぶことができますよ
うに アーメン

「わたしたちを照らしてください。」という一節が心にしみ込んできました。新型コロナウィルス禍の下、本来はみんなで助け合って乗り越えるべき時、香港、ミャンマー、パレスチナをはじめ世界各地で争いが激化しています。私たちの心はどうなっているだろうか。人間が心配です。主日礼拝も思うように守れませんが、みんなで祈りしましょう。「聖霊来てください あなたの光の輝きで わたしたち(世界中)を照らしてください。」

(主教 アンデル 磯 晴久)

かけがえのない人生を歩むために マ・カタリーナ活動報告

マ・カタリーナは、今年の7月で、発足から2年を迎えます。この度献金をいただきました京都伝道区の信徒伝道協議会をはじめ、日頃の皆様のお支えとお祈りに心より感謝致します。

マ・カタリーナ(まあ語り

OK委員会ニュース いざ宣教の海へ

私は2018年6月に大阪教区の宣教協働者として迎えられ、翌年4月から川口基督教会に派遣されました。畏れ多くも、その年の定期教区会で常置委員に選ばれました。それから、学校のチャプレンを勤めておられた当時の常置委員長に代わって、大阪・京都特別協働教区運営委員会(以下OK委員会)に、陪席という立場で加わりました。2020年度からは正委員として携わっています。ここに至るまで宣教の仲間として支え導いてくださった皆様に感

いな)は、何らかの精神疾患やストレスによって「鬱状態」を経験している方が集まり、各々の想いや体験を分かち合う自助グループです。毎月第1金曜日に京都聖ヨハネ教会で開催し、毎回5〜8名の方が参加されています。

謝します。

以前私は、韓国聖公会の管区総主事として日韓協働委員会にも関わっていて、その際に両教区の合併のことを耳にしました。まさか自分がその委員会のメンバーになるとは、思いもかけないことです。私は、もう両教区の合併は決まっていて、この委員会は、これからの具体的な準備に取り掛かるのかと思っていました。しかし、紆余曲折を経て、「特別協働教区」という「特別」な名称と段階に至っていることが分かりました。そこには、いくつかのハードルがあつて、それらを乗り越えなければならぬということも分かってきました。

分かち合いでは、毎回テーマを設け(家族に自分の病気をどう伝えるか等々)それについて参加者各自の体験や想いを語り合い、聴き合うという流れで進めています。「普段は、人に精神疾患のことは話せないで、こういう場ができて本当に嬉しかったです」

しゃってくださいます。精神疾患や心の痛みは、人間の目では見ることができません。そのため、時には一番身近な家族にさえも自分の痛みについて話すことができません。独りで思い悩むことを余儀なくされることもあるのです。

そんな中で、私は当時次のように話したことを覚えています。「自分は宣教協働者として来ている。何をどう協働すべきかは、これからですが、出来るだけのことをして協働(コラボレーション)して参りたい」と。

いものとして生き抜いていくための癒しと勇気を与え合える場となるように、これからも活動を続けていければと願っております。(世話人 荒木 太一・麓 敦子)

京都教区婦人会当番
三重伝道区よりバナー報告

都会部の近距離での宣教歴史を持つ大阪教区と、都会と農漁村部まで広範な地域における宣教の歴史を持つ京都教区とが、合併を目指して、今年の教区会に合併の議案を出す予定です。私は、議事進行上の形は投票ですが、それは賛否を問う投票行為だけではなく、宣教的決断を求める歴史の瞬間(カイロス)に居合すことと捉えています。信

徒の高齢化、少子化による次世代への不安、財政の逼迫や世俗化といった世態に「KO」されず、新たな宣教の器となつて、神様から「OK」サインを出して頂けることを望んでいます。OK委員会に加わってから、時々地図を眺めますが、淀川の行方から気づきました。この川は琵琶湖から流れ出る唯一の河川で、瀬田川、宇治川、淀川と名前を変えながら、やがて大阪湾から太平洋へ流れ込みます。京都と大阪とを潤しながら海に向かうこの川のように、いざ新しい宣教の海へ、旅立ちたい。(川口基督教会牧師 司祭 柳 時京)

2019、2020年度の当番を三重伝道区が担いました。初年度は代表者を開くことが出来ましたが、二年目はコロナウイルスの発生により、7月の大会が中止となりました。2020年度の代表者会もお集まりいただくことが出来なくなり、10月13日にチャプレン荒木太一司祭の司式で、上野聖ヨハネ教会にて聖餐式をおささげし、書面議決の形で行いました。報告書は無事に12月初めに各教会へお送りいたしました。大変遅くなりましたが、2年間の皆様のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。(上野聖ヨハネ教会 石井 俊子)

※掲載が遅れましたことをお詫びいたします。(編集部)

学校紹介

プール学院中学校・高等学校

プール学院中学校・高等学校は、総人口の20パーセントにあたる、約28,000人が外国にルーツを持つ大阪府生野区にキャンパスがあり、2021年で創立142年目を迎えました。

1879年に東洋女子教育協会(通称、FES)の宣教師であるメアリー・ジェーン・オクスラドによって川口居留地にて創立されたプール学院は「町がにぎわってきて勉強に集中できないから」という理由で、1917年に当時は

煙しかなかった東成郡鶴橋村天王寺(現在の勝山キャンパス)へ移転することになり、現在に至ります。しかし何年も前から学校の目前にある勝山通りでは、四六時中車が横行しています。

学校名のプールは創立者であるオクスラドが始めた私塾を「女子教育のための学校」として発展させるために多大なる尽力をされた、英国国教会の伝道主教アーサー・ウイリアム・プール主教(当時、監督)に由来しています。

プール学院では「キリスト教精神に基づいた心豊かな人格形成」を建学の精神とし、生徒、教職員をはじめ学院に連なる一人ひとりが、神さまに与えられた「かけがえのない唯一のいのち」を互いに大切にし、他者を尊敬し、他者に仕え合う生活を心掛けて日々を過ごしています。

また、建学の精神を学校生活のあらゆる場面において具体的な形で表現するためのスクールモットーとして、『Caritas et Ministerium(カリタス エト ミニステリウム)―愛と奉仕―』を掲げ、『さまざまの違いを持つ他者』を大切にし、『他者』に仕え、『他者』とともに生きるために自らを成長させること』を目指しています。

学校生活で最も大切にされているのは礼拝です。特に、朝の礼拝の時間は自分自身のことも含めた、「さまざまな事柄と向き合う」ための大切なひと時となっています。最近では、司式・奏楽・メッセージすべてを生徒が担当す



る“Student Chapel”も定期的にささげられています。ボランティア活動の報告なども含めて、生徒が主体的に礼拝の時間を創り上げていくことは、学校の力の源です。

毎日行われている朝の礼拝で、生徒にとってもっとも特別なことは、中学からコールユーブンゲンを用いた音楽の授業で鍛え上げられている美しい歌声(ちなみに、音楽は中高全学年の必修となっています)によって聖歌をおささげすることです。この歌声は、人間の弱さを受け止めつつ、

その弱さを超越した大いなる存在への信頼を想い起させます。

校舎内で、廊下を歩きながら聖歌を口ずさむ生徒、最寄り駅近くの商店街で、聖歌を口ずさんでいるプール生とすれ違うことも珍しくありません。それほどに聖歌は生徒の心の支えになっているようです。クラスによっては50分間の聖書の授業のうち30分間、まるでカラオケボックスにいるかのような錯覚に陥るほど、全員でひたすら聖歌を歌い続けている時もあります。

もちろん、普通教室での授業ですのでアカベラです。(筆者は、最大で35分間、聖書の授業中に聖歌を歌い続けたことがあります。ときには、ソロで歌われます。笑)

聖歌は、生徒たち一人ひとりの心の叫びのような気がしてなりません。思春期の複雑な心模様を迷いなく、率直に神さまに向けてささげる姿は、創立当初から受け継がれているプール学院の命そのものなのです。

(プール学院中学校・高等学校
チャプレン
司祭 成岡 宏晃)

教会紹介 大阪編

大阪聖愛教会

大阪聖愛教会は1883年に設立された聖救主教会と1903年建てられた復活教会がその前身です。しかし、両方の教会は1945年6月の大阪大空襲によって焼失し、戦後、二つの教会の人々が集まり1947年、聖救主教会のあった場所に仮礼拝堂を建て教会を再建し、現在にいたっています。ことに、近隣にあるプール学院中高、桃山学院中高、大阪女学院との関わりも深く、教会のメンバーの中には各学校の出身者も多くいます。また、地域の子どもたちへの取り組みとして、ボーイスカウト活動を1963年から始め、多くの青少年育成にも携わってきました。

(司祭 古澤 秀利)



大和伝道区のご紹介

大和伝道区長 司祭 古本 靖久

大和伝道区には、8つの教会があります。いずれも奈良県内で、奈良基督教会、西大和聖ペテロ教会、八木基督教会、高田基督教会、百済基督教会、桜井聖保羅教会、田原本聖救主教会、五條聖三一教会です。

わたしは昨年の四月から奈良基督教会に遣わされ、今年の四月からは西大和聖ペテロ教会の管理牧師をしております。あわせて今年の四月、前伝道区長の奥晋一郎司祭の転任に伴い、大和伝道区長に任命されました。ところが残念なことに、昨年から今に至るまで、伝道区の行事はほとんど

ど取りやめとなっております。大齋集会も、合同礼拝も、伝道区会すらおこなわれない状況です。

そのため、わたしは奈良と西大和以外の教会には行ったことがありません。きっとそれぞれ歴史ある、魅力ある教会なのだろうと想像します。各地の教会に行くのを、とても楽しみにしております。みなさんぜひ、奈良に来られたときにはお近くの教会をお訪ねください。
(大和伝道区長 古本 靖久)



大和伝道区配置図

- ①奈良基督教会
- ②西大和聖ペテロ教会
- ③八木基督教会
- ④高田基督教会
- ⑤百済基督教会
- ⑥桜井聖保羅教会
- ⑦田原本聖救主教会
- ⑧五條聖三一教会

京都教区

【常置】委員報告 5/19 (定期)

1. 報告事項

- 主教報告
- 4月1日から(学)三重学園の「まるこ保育園」(小規模保育、伊勢)がスタートした。
- 5月17日に聖公会保育連盟全国理事会がハイブリッドで開かれた。

▼常置委員長報告

- 4月30日に2021年度省エネ融資・補助制度の案内を教役者メーリングリストに送った。
- ▼特別協働教区運営委員会
- 合併に関する「Q&A」の原稿が完成し、印刷に入った。

た。

- ▼京都事件・体質改善関係
- 検証報告作成チーム委員会を開催した。
- ▼その他

2. 協議事項

- 平和学習委員として山東史子さん(奈良基督教会)を承認した。
- 大阪教区との合併について、京都教区の説明会を伝道区ごとにおこなうこととした。
- 説明会の前に合併に関するQ&Aを配布することとした。(文責・常置委員会書記)

【局長】会議報告 5/25

1. 総務局報告

- ▼5月10日に京都府文教課に2020年度「事務所備付

け書類の写し」を提出した。

2. 宣教局報告

- ▼5月24日に礼拝部会を行った。今後オンライン礼拝の意義や方法について検討し、様々な理由で教会に来られない方にオンライン礼拝がツールとして使えるか、またその環境にない人へのフォローなどについて考えていきたい。
- ▼キッズフェスティバル冊子の第1号の配布を開始した。夏に第2号配布予定。

3. 財政局報告

- ▼2021年度教区経常費収支月次報告(4月30日)

4. 協議事項

- ▼教会預り金について協議した。(文責・局長会議書記)

大阪教区

【常置】委員報告 5/21 (定期)

I. 主教報告及び諸報告

- *ヒューム執事の説教試験は再延期され、7月2日(金)で調整中。
- 【宣教局】子ども達へのみ言葉の分かち合いの冊子を年3〜4回発行する。
- 教区の様々な行事の動画配信を担当するスタッフを探し

ている。

- 【財政局】会計委員懇談会を昨年同様に9月に延期する予定。
- 【総務局】聖霊降臨日の信施はカトリック中央協議会のカリタスジャパンを通じてミヤンマーの人たちへ捧げる。
- 【OK運営委員会】各教会での合併についての説明会の状況が報告された。
- 合併についてのQ&A冊子が出来上がったので、各教会

II. 協議事項及び主教諮問

- *コロナ関連対応について緊急事態宣言が延長された場合、再度主教メッセージを出す。
- *来年の宣教協議会についての

での理解を深めてもらうために順次発送する。

- 【中日本宣教協働区】4月20日に第2回協働委員会が開かれ、その前に行われた主教会で示された今後の活動方針に沿って協議がなされた。



お詫びと訂正

○合併5号(5月号4面)
国分さん名前のルビが間違っ
ておりました。
腆旺(誤) ↓ 腆旺(正)
関係者の方々にお詫びし、
訂正いたします。(編集部)

アンケートを関係者に送付し
ている。
*大阪はハラスメント関連の活
動が停滞しているため、牧会
支援委員会を中心に再検討
する。
*2023年大阪教区成立百
周年記念事業について準備委
員会を招集して検討する。
*長期に開催されていない教役
者会を6月1日(火)川
口基督教会(場合によってオ
ンライン)で開催する。
*第126(臨時)教区会議事録
の読み合わせを行い、一部修
正後承認した。

大阪教区関係教役者
7月逝去者記念聖餐式

7月14日(水) 10:30~

- 1日 司祭 ウォルター・J・エドモンズ (1889年英)
伝道師 野村 志津 (1997年)
5日 宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト
(1934年英)
9日 伝道師 フィベ 山上 操 (2014年)
12日 主教 パウロ 久保淵 豊彦 (2006年)
14日 主教 アーサー・ウィリアム・プール (1885年英)
15日 宣教師 オクタビア・ジュリアス (1942年英)
20日 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス(1942年英)
司祭 ヨハネ 木川田 正毅 (1990年)
21日 司祭 堀江 議作 (1928年)
執事 永田 保治郎 (1941年)
22日 司祭 イサク 木川田 満 (2018年)
23日 伝道師 中村 貞子 (1953年)
宣教師 エセル・アグネス・カーライル (1957年英)
24日 司祭 西田 弥吉 (1945年)
宣教師 ジェーン・アン・スタベリー (1963年英)
25日 司祭 サムエル 堀江 光児 (1990年)
28日 主教 マルコ 小池 俊男 (2011年)
29日 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ(1940カナダ)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分
から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかか
わらず、どうぞ自由にご参加ください。

京都教区関係逝去教役者
7月記念聖餐式

7月21日(水) 10:30~

- 1日 伝道師 野村 志津 (1997年)
司祭 サムエル 関本 肇 (2015年)
5日 司祭 松島 篤 (1943年)
7日 司祭 ヨハネ 安島 八郎 (1956年)
8日 司祭 ダビデ 竹内 直三郎 (1990年)
9日 司祭 V.I.ゴーリング (2008年)
10日 司祭 ペテロ 寺尾 平次郎 (2003)
主教 フランシス 森 紀旦 (2018)
15日 司祭 N.P.イエーツ (1938年)
21日 執事 永田 保治郎 (1941年)
23日 司祭 ウィリアムス 菅 円吉 (1972年)
24日 司祭 西田 弥吉 (1945年)
27日 司祭 J.H.ロイド (1951年)
31日 司祭 ペテロ 西川 一夫 (1979年)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分
から、聖アグネス教会で行われます。



- 大 阪
4日 芦屋聖マルコ教会
11日 聖ガブリエル教会
18日 西宮聖ペテロ教会
(堅信式)
●京 都
25日 大阪聖アンデレ教会
4日 八木基督教会
11日 東舞鶴聖パウロ教会

主教巡回予定(7月)

魂の平安をお祈りいたします。

川口基督教会(4月20日)
ハナナ 幸原 治栄
西宮聖ペテロ教会(5月8日)
面高 雅紀

逝 去 者

奈良基督教会(5月3日)
聖職候補生サムエル 藤井 和人
ハガル 亥場 香

聖 婚